

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2014-188203(P2014-188203A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-66971(P2013-66971)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月17日(2016.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立に基づいて実行されるゲームの進行制御を行う遊技制御手段と、前記ゲームに関連して実行される演出に係る制御を行う演出制御手段と、を備え、

前記ゲームの結果態様が予め定められた特別結果となる場合に遊技者に遊技価値を付与可能な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

内部に発光体を備え、遊技者が操作可能な操作手段を備え、

前記演出制御手段は、

前記発光体の発光態様によって前記特別遊技状態が発生する期待度を遊技者に報知する予告演出を実行する予告制御手段を備え、

前記予告制御手段は、

所定条件の成立に基づき、前記発光態様を変更可能とすることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記操作手段への操作の検出が有効になる操作有効期間中、前記操作手段の操作を検出せずに所定時間が経過した場合に、前記所定条件が成立することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記操作手段への操作の検出が有効になる操作有効期間中、前記操作手段への操作に応じて前記所定条件が成立することを特徴とすることを請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記ゲームの実行に関連して発生した前記操作有効期間中の前記発光態様に基づき、該操作有効期間が終了した後に行われる当該ゲームの実行態様を選択可能とすることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記ゲームの実行態様の選択には、当該ゲームの変動パターンの選択が含まれることを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、遊技者が操作可能な操作手段を備えた遊技機に関する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

遊技機枠に押しボタン等からなる操作部（操作手段）を設け、変動表示ゲームの実行中に操作部を操作するための有効期間を発生させ、その有効期間中に操作部が操作されたことに基づいて、変動表示ゲームの結果を示唆する予告演出等の報知演出を行う遊技機がある。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の一形態によれば、始動条件の成立に基づいて実行されるゲームの進行制御を行う遊技制御手段と、前記ゲームに関連して実行される演出に係る制御を行う演出制御手段と、を備え、前記ゲームの結果態様が予め定められた特別結果となる場合に遊技者に遊技価値を付与可能な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、内部に発光体を備え、遊技者が操作可能な操作手段を備え、前記演出制御手段は、前記発光体の発光態様によって前記特別遊技状態が発生する期待度を遊技者に報知する予告演出を実行する予告制御手段を備え、前記予告制御手段は、所定条件の成立に基づき、前記発光態様を変更可能とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０６４５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０６４５】

変動表示ゲームが開始された後（画面（Ａ））、所定時間が経過すると、ボタン演出を含むリーチ前予告演出が実行される（画面（Ｂ））。このとき、図７８と同様に、演出ボタン２５の操作を促す画像が表示される。演出ボタン２５の操作を促す画像には、操作有効時間を示すゲージが含まれている。さらに、図７９では、画面右部に演出ボタン２５の操作回数を示すゲージが表示される。